

景況調査（平成30年7月～9月期）の結果について

県内企業の景況感を把握するために四半期ごとに「景況調査」を実施しています。

1 結果概要

(1) 今期（平成30年7月～9月期）の県内企業の景況（前期（平成30年4月～6月期）との比較）

- ・生産 DI：プラス幅が縮小した。
- ・業況、経常利益の各 DI：マイナス幅が拡大した。
- ・売上 DI：プラスからマイナスに転じた。
- ・雇用の水準 DI：マイナス幅がわずかに縮小し、引き続き不足となった。

(2) 規模別

- ・大企業：業況 DI はプラス幅が拡大した。
- ・中小企業：業況 DI はマイナス幅が拡大した。

(3) 業種別

- ・製造業：業況 DI はプラスからマイナスに転じた。
- ・建設業、卸売業：業況 DI はプラス幅が縮小した。
- ・小売業、サービス業：業況 DI はマイナス幅が拡大した。

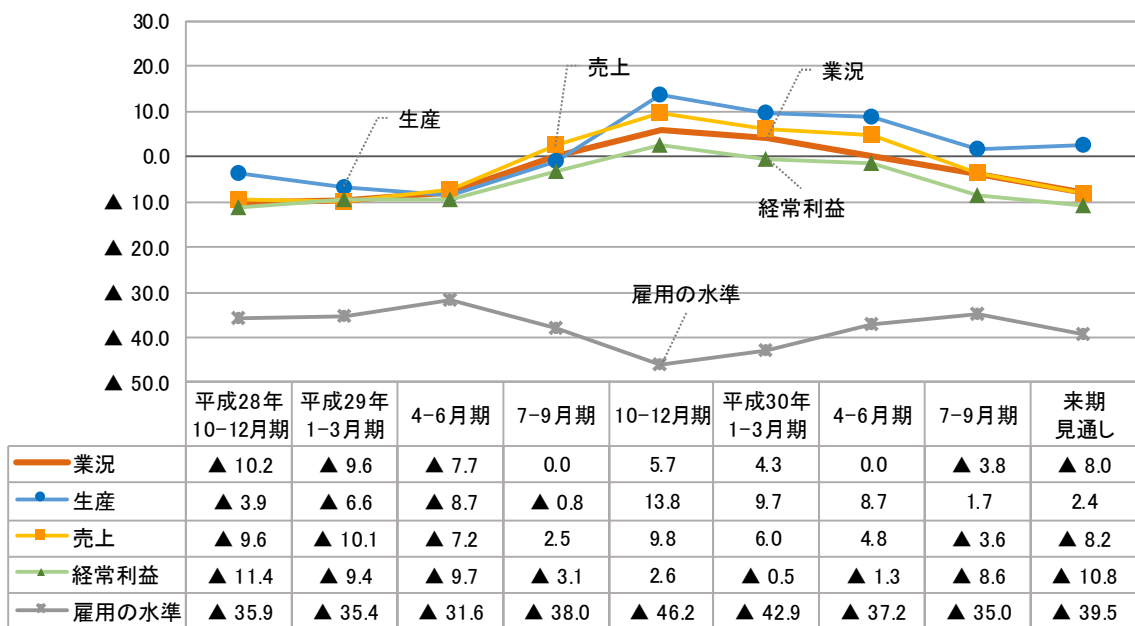
(4) 地域別

- ・大津地域、湖北地域：業況 DI はマイナス幅が拡大した。
- ・南部地域：業況 DI はプラス幅が拡大した。
- ・甲賀地域、東近江地域：業況 DI はプラスからマイナスに転じた。
- ・湖東地域、高島地域：業況 DI はマイナス幅が縮小した。

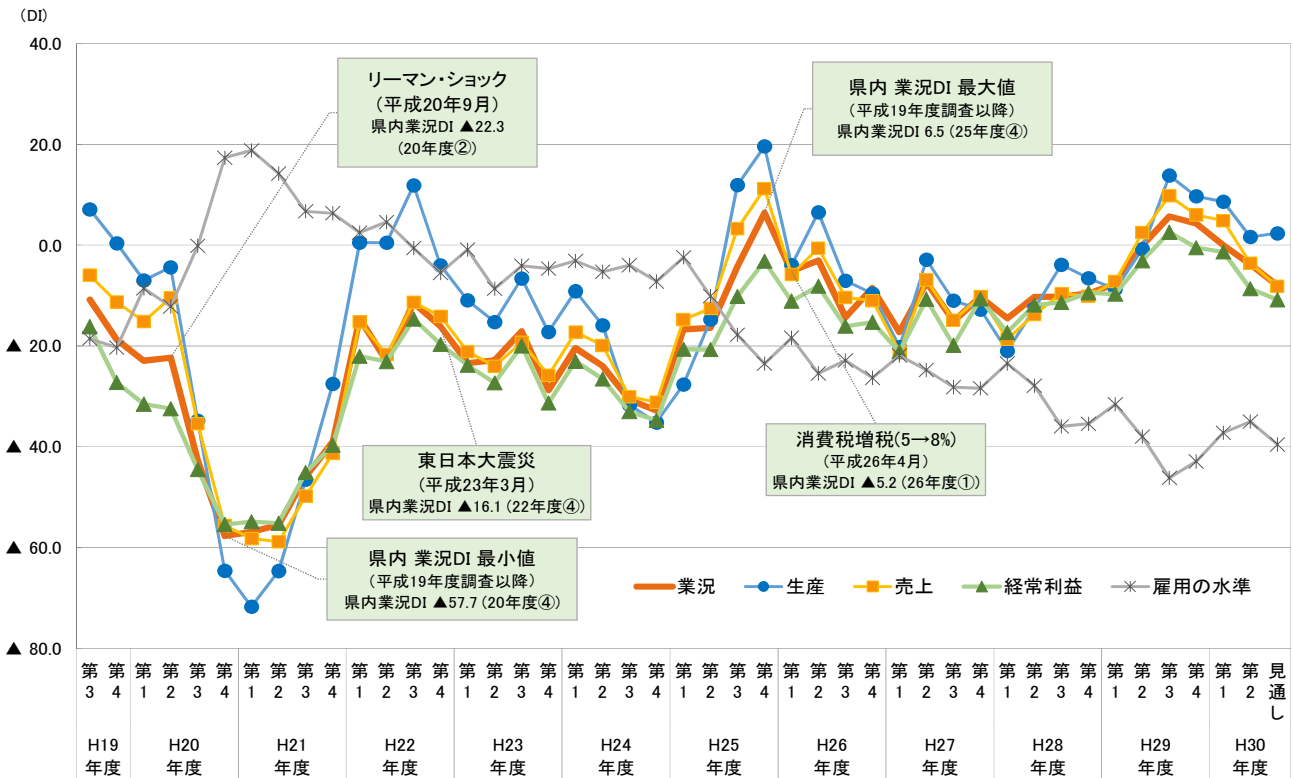
(5) 来期（平成30年10月～12月期）の見通し

- ・業況、売上、経常利益の各 DI：マイナス幅が拡大する見通し。
- ・生産 DI：プラス幅が拡大する見通し。
- ・雇用の水準 DI：マイナス幅が拡大し、不足感が強まる見通し。

各種 DI の動き（実績）と来期の見通し



DI の推移：平成 19 年度第 3 四半期～30 年度第 1 四半期



2 調査概要

- ①調査期間……平成 30 年 7 月～9 月
 - ②調査客体……県内の事業所
 - ③調査方法……郵送アンケートおよび訪問、電話によるヒアリング調査
- ※本調査での DI (ディフュージョン・インデックス) :

「増加 (好転・上昇・過剰等)」と回答した事業所数の構成比から、「減少 (悪化・低下・不足等)」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値。

生産 DI、売上 DI は前年同期と比較した「増加ー減少」、経常利益 DI、業況 DI は前年同期と比較した「好転ー悪化」、雇用の水準 DI は今期水準の「過剰ー不足」の軸を用いて算出。

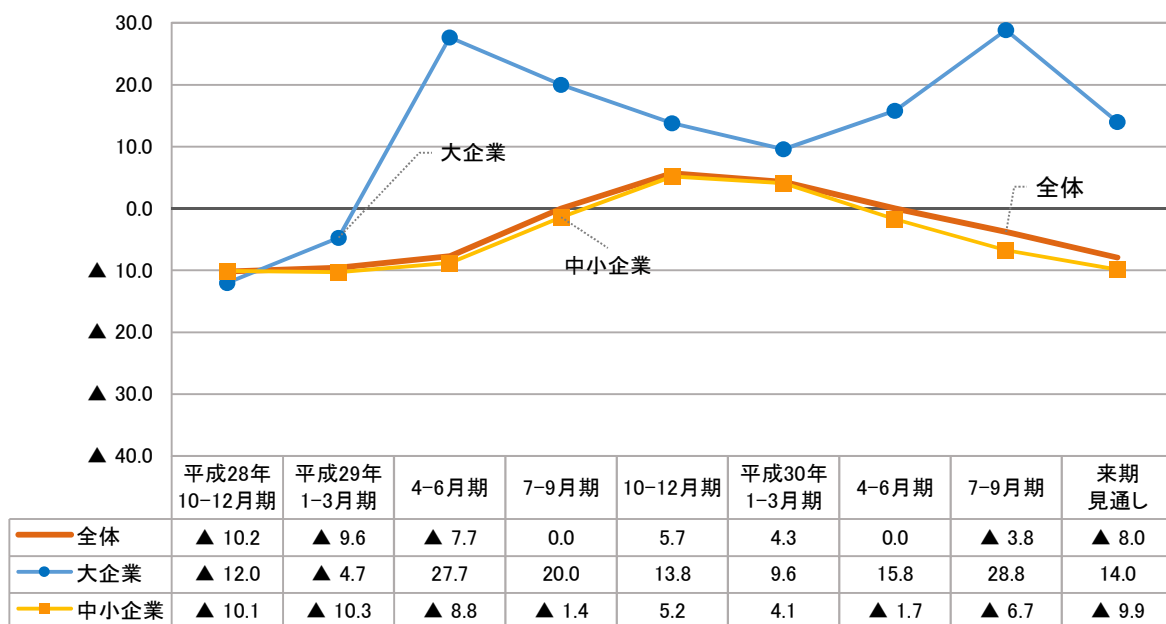
来期の見通しについては、生産 DI、売上 DI は 3 カ月後の前年同期と比較した「増加ー減少」、経常利益 DI、業況 DI は 3 カ月後の前年同期と比較した「好転ー悪化」、雇用の水準 DI は 3 カ月後水準の「過剰ー不足」の軸を用いて算出。

④調査企業数

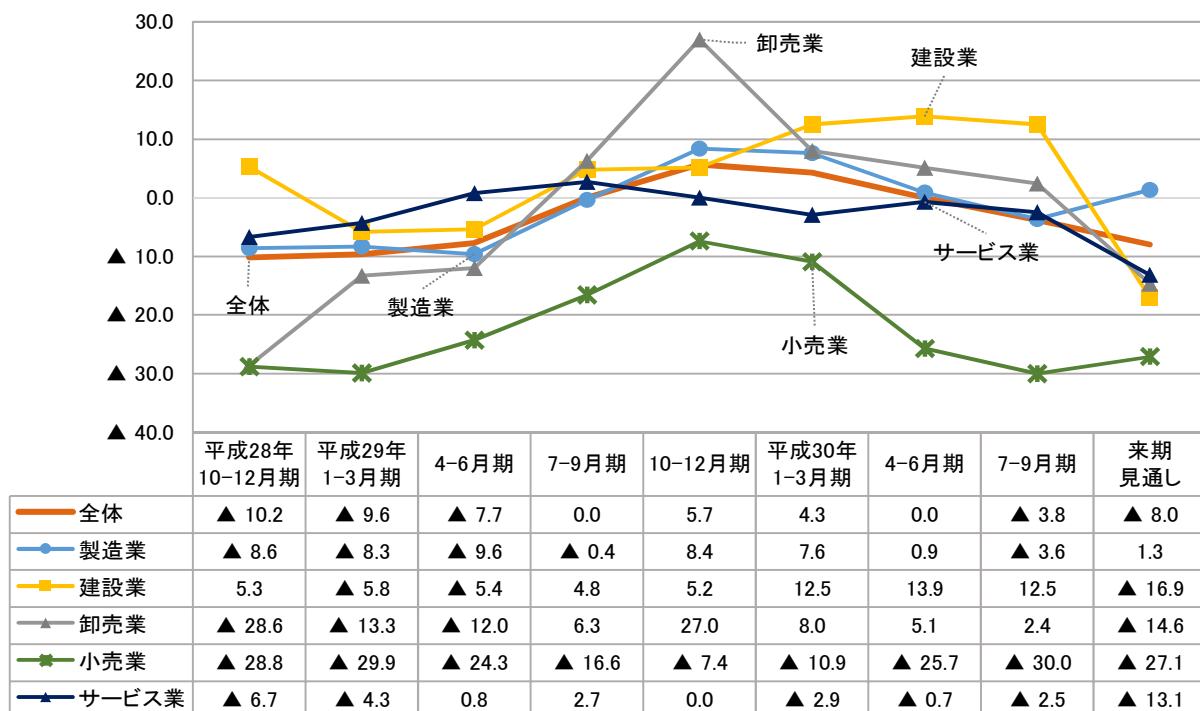
() の数字は大企業数

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大津地域	24(1)	10(0)	9(0)	12(1)	40(1)	95(3)
南部地域	77(10)	13(4)	9(0)	15(2)	47(6)	161(22)
甲賀地域	52(6)	11(0)	9(0)	13(1)	23(2)	108(9)
東近江地域	56(6)	14(0)	8(1)	4(0)	25(1)	107(8)
湖東地域	44(4)	8(0)	3(0)	10(1)	16(1)	81(6)
湖北地域	43(0)	4(0)	5(0)	8(1)	19(3)	79(4)
高島地域	14(1)	6(0)	2(0)	2(0)	5(1)	29(2)
合計	310(28)	66(4)	45(1)	64(6)	175(15)	660(54)
産業別比率	47.0%	10.0%	6.8%	9.7%	26.5%	

企業規模別業況の動き（実績）と来期の見通し



業種別業況の動き（実績）と来期の見通し



地域別業況の動き（実績）と来期の見通し

